

申込書

New Business Creation Forum 2018 3rd

イノベーション競争時代の 新事業創出

戦略的“つながり”と“組織”的あり方から問う、その真価

2018年3月20日(火) 9:50~17:30／赤坂インターシティ コンファレンス the AIR 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 4F

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に記入、

もしくは欄内にお名刺をそのまま貼付の上、FAXにてご送信ください。

申込日
2018年 月 日

お申込み方法

- ・申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
- ・複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。
- ・お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。
- ・定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書と受講証をお送りいたします。
参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は開催7日前までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。開催日6日前からのキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料（お一人様／税込 ※ランチ交流会含む）

¥32,000

氏名	フリガナ（※必ず記入ください）
会社名	業種
部署	役職
住所	
TEL	FAX
E-mail	
記入者氏名 (ご参加者と同じ場合 は不要)	支払い担当者

下記にお答えください（※必須項目）

貴社の「新事業創出」に関して、お持ちの課題【テーマ】、ご関心の事業領域【分野】のカテゴリをお聞かせください。

【テーマ】例：組織風土、人材育成、アイディア創出など

【分野】例：IoT、AI、ヘルスケア、エネルギー、素材など

* 当日のご昼食休憩にて、参加者同士の交流の場をご用意しております。

この機会に、参加者の方々と共有したい課題（テーマ）・交流を図りたい事業領域（分野）がございましたらお聞かせくださいませ。

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからもお申込みいただけます <http://www.b-forum.net/nbc2018>

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL:03-3518-6531 受付時間 9:30~18:00 (土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

* 本申込書をご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び株式会社ビジネス・フォーラム事務局（以下弊社）が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。

* 個人情報の第三者提供について：当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。

[第三者に提供する目的]・本イベントを適切に運営するため

・本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）からの製品・サービスのご紹介、展示会、セミナー等のご案内などに利用するため

[提供する個人情報の項目] 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目

[提供の手段又は方法] 直接書面、または電子データにて提供いたします

[当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性] 当該情報の提供を受ける者は、本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）との間に個人情報の取扱いに関する契約はございません

[個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨] 弊社と本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）との間に個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

* 当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止（「開示等」といいます。）を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。

* 任意項目の情報のご提供がない場合、最適なご回答ができない場合があります。

<個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 個人情報保護管理者 取締役 松田 熟 TEL:03-3518-6531 (受付時間 9:30~18:00 ※土日祝日を除く)

開催日時 2018年3月20日(火) 9:50~17:30 (受付 9:20~)

会場 赤坂インターシティ コンファレンス the AIR

東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 4F

アクセス 東京メトロ 銀座線・南北線「溜池山王駅」/

千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」直結

参加定員 150名（事前登録制）

参加対象 経営者、役員、経営企画、新規事業開発、事業戦略、研究・技術開発、組織改革、投資関連業務ほか、各事業部門の管理職の方々

New Business
Creation Forum 2018 3rd

イノベーション競争時代の 新事業創出

戦略的“つながり”と
“組織”的あり方から問う、
その真価

開催趣旨

第四次産業革命の進展によってデジタル・ディスラプションの波が起こり、あらゆるコト・モノ・ヒトが垣根なくつながる時代。世界中で過去に例のないビジネスモデルや市場が創造される中、新たなチャンスが創出されていると同時に、その市場の変化に伴う競争の激化は日進月歩で加速し、さらに不確実性を増しています。

こうした背景による危機感から、国内では自前から連携への動きが浸透しています。自社のリソースをオープン化し、異業種・異分野と手を組み、時にはライバルの知恵を取り入れるなど、各社が様々な方法で外とつながり、新事業の鍵を探る取り組みを行っています。

しかし、チャンスとリスクが表裏一体、且つ、今やすべての企業が生き残りを掛けたイノベーション創出活動を行う「競争状態」の現在、革新的事業創出のためには、ただ闇雲に可能性を模索し続けることは得策とは言えません。実際、自前の殻を破り外部にヒントを求める中でも、内部組織の体質が足枷となり、新たな事業の芽も育つことなく潰れてしまうなど、既に活動に対する行き詰まりや閉塞感がみられます。この闘争を勝ち抜き、イノベーションを生み出し続けるためには、現状の課題の本質を棚卸しし、その先の未来像を描き、「戦略」と「仕組み」を考えることが、改めて求められているのではないでしょうか。

殻を破るだけでなく、時代の変化を読み、本流を見分け、いかに時流に合ったスピードを持って地に足のついた「戦略的」なイノベーション活動を実践するか。そして、夢の語りで終わらず、いかに事業化と価値創出につなげるか。今、日本企業にはその覚悟と真価が問われています。

本フォーラムでは、人、組織、そして未来を創るために戦略的「新事業創出」のあり方を、社内外の“つながり方”と“組織”的観点から問い合わせし、その成功へ向けた糸口について、実践企業の事例をもとに考察・検証して参ります。事業だけではなく、それを創る人、組織の戦略を含め、改めて日本企業におけるイノベーション創出の課題と目的の本質に立ち返り、未来を拓くための機会となれば幸いです。

主催：株式会社ビジネス・フォーラム事務局

特別協賛：VALUENEX株式会社 協賛：株式会社インヴィニオ

VALUENEX
Intellectual innovator

INVENIO
Discover the Potential for Leadership

PROGRAM

9:50-10:00 オープニング

10:00-11:10 【変革する組織の新事業戦略】

パナソニックにおける「大改革」～イノベーションを“量産”し続ける組織へ～

特別ゲスト講演 I

- パナソニックが挑む新事業と「量産化技術開発」の取り組み
- 社内横断組織による、スピーディーな事業創出へ向けた仕組みづくり
- 新事業を生み出す組織、人づくりへの挑戦

パナソニック株式会社

ビジネスイノベーション本部 副本部長 コーポレートイノベーション担当
パナソニック ノースアメリカ株式会社 副社長 馬場 渉 氏

プロフィール | 2017年4月パナソニック株式会社入社。ビジネスイノベーション本部副本部長コーポレートイノベーション担当として全社イノベーション推進を担う。米シリコンバレーに拠点を置き、パナソニックノースアメリカ株式会社副社長を兼務。パナソニック入社前はSAP 本社カスタマーイエクスペリエンス担当バイスプレジデントとしてシリコンバレー・パロアルトに籍を置き、外部の大規模組織に対しデザインシングルと最新テクノロジーによりイノベーション文化と実行能力を経営戦略として取り込むハンズオン型アドバイザリーに従事。公益社団法人日本プロサッカーリーグ(リーグ)特任理事。



今年で創業100年を迎えるパナソニック。既存ビジネスモデルに対する危機感から、2017年4月より大規模な組織改革と新たなイノベーション戦略に舵を切っている。IoTやAI技術を柱とした新事業創出と成長モデルの構築を目指し、全社横断的な専門組織を設置。「タテバナ」から「ヨコバナ」への変革、スピード重視のプロトotyping、イノベーションの量産化へ向けた仕組みづくりを行う。その旗振り役となる馬場氏は、シリコンバレーにて新組織「Panasonic β」を立ち上げ、既存の家電製品、住宅などの枠を超えた新たな住空間サービスの提案に向けた「HomeX」プロジェクトを進めている。同社の“世界一奪還”に向けた大改革を牽引されている馬場氏を招き、イノベーションを生み出し続けるための仕組みづくりと組織改革についてお話をいただきます。

11:10-12:00 【新事業創出のための俯瞰解析】

特別協賛講演

俯瞰解析による未来予測×新事業戦略～技術、市場、社会を分野横断的につなぐには？～

- 既存概念を打破した商品・サービスづくりの秘訣とは？
- 新たなビジネスチャンスやアライアンス先の探索、スタートアップの発掘など目的に応じたソリューションを解説
- 2050年までの未来へつながる、戦略的なストーリーの描き方

VALUENEX株式会社 代表取締役CEO 中村 達生 氏

プロフィール | 埼玉県出身。1991年、早稲田大学大学院理工学研究科機械工学分野を修了後、三菱総合研究所に入社。コンサルティングに従事。可視化アルゴリズムや俯瞰解析ソフトウェアを開発し、知財調査・ヒックデータ・予測分析分野にてソリューションを展開。1994年から1998年まで東京大学工学部助手として勤務。三菱総研に復職後、2005年に工学博士を取得。2006年に膨大な情報を解析的に取り扱うことの必要性と意義を訴えてVALUENEX株式会社を設立、代表取締役CEOに就任（現任）。2014年2月米国カリフォルニア州メンロパークに現地法人を設立、CEOに就任（現任）。1年のうち約半分を海外にて活動。現在、早稲田大学理工学部非常勤講師も務める。



産業、社会のあらゆる情報が横断的につながり、さらに、そこで営まれる様々な活動や行動が張り巡らされたセンサーにより集積される近未来の社会。ここでは、必要な情報を正しく適切につなぎ読み解くことが、クロスボーダーであり異業種間の激しい競争を勝ち抜く条件となります。研究、技術、製品・サービス、社会ニーズ、金融のそれぞれを代表する情報をつなぎ、正確に解析したヒックデータを俯瞰的に読み解くこと、自社の置かれているポジション、次のビジネスチャンスとなる空白領域、トレンドに合わせた新事業領域、適切なアライアンス先を浮かび上がらせることが可能です。俯瞰解析手法による未来予測の実践を実例とともに紹介いたします。

12:00-13:00 Networking Lunch

※ご昼食（ピュッフェ形式）と併せて、参加者同士の交流の場をご用意しております。是非ご参加くださいませ。

13:00-14:00 【大手企業×スタートアップの戦略的連携】

特別対談セッション

三井化学×rimOnOの連携が起こすイノベーション～戦略的連携を実現する、仕組みづくり～

三井化学株式会社

常務執行役員 研究開発本部長

福田 伸 氏

プロフィール | 1986年北海道大学工学研究科原子工学科博士課程修了後、同研究科にて助手として勤務。その後、日産自動車（株）宇宙航空事業部勤務を経て、1992年三井化学（株）（当時三井東圧化成）に入社。マテリアルサイエンス研究所GL、複合技術開発部長、新材料研究センター長を歴任。2012年より新規事業創出を担当する環境・エネルギー事業推進室長、次世代事業開発室長を経て、2017年より常務執行役員・研究開発本部長。



株式会社rimOnO

代表取締役社長（元経済産業省 官僚）

伊藤 慎介 氏

プロフィール | 1999年に通商産業省（現 経済産業省）に入省。自動車課では次世代自動車用蓄電池の技術開発プロジェクト設立、情報統計課ではスマートハウス、日本スマートグリッドの国家プロジェクト設立、航空機武器宇宙産業課では国産ジェット機の国家プロジェクトに従事するなどの経験を経て、2014年7月に経済産業省を退官。同年9月に株式会社rimOnOを設立。2016年5月に本製ボディの超小型電気自動車「rimOnO Prototype 01」を発表。現在もオープンイノベーション型で開発を進めている。



大手企業側の視点

- 連携の目的とゴール、マイルストーンの設定
- 連携を活かす、社内仕組みづくり
～チャレンジを促す組織設計と評価手法～
- 外部企業、スタートアップとの連携におけるポイント

阪大発ベンチャー マイクロ波化学（株）やドローンベンチャー等、様々な企業との連携を通じたオープンイノベーション活動の取り組みを進めている三井化学。2017年10月には、ワンタッチでレンズの焦点距離が切り替わる電子メガネ「タッチフォーカス」を発表するなど、今後の新事業・新製品開発活動にも注目される。



スタートアップ側の視点

- 大手各社を巻き込み、超小型モビリティ「rimOnO」の開発背景
- 連携先とWin-Winの関係性を生むポイント
- 「rimOnO」にみる、コラボレーションとものづくりの可能性と課題

経産省出身の伊藤氏とトヨタ自動車出身の工業デザイナー（zug design代表）の根津孝太氏が2014年に設立したベンチャー企業。三井化学（株）の他、帝人フロンティア（株）、ローランド（株）など大手企業各社を巻き込み、「乗り物からNoをなくす」という全く新しいコンセプトの布製超小型モビリティ「rimOnO」の開発に取り組んでいる。

14:00-14:05 Short Break

14:05-15:05 【新事業を生む組織体制】

特別ゲスト講演 II

横河電機における戦略的イノベーション活動と組織体制づくり

- 新事業創出のための組織設計～R&D、オープンイノベーション、M&A、特許・知財などを含む横断的組織づくり
- イノベーションを活性化させる組織マネジメントと評価手法
- 「イノベーション創出サイクル」における、戦略的外部連携



横河電機株式会社 執行役員 マーケティング本部長 阿部 剛士 氏

プロフィール | 1985年、インテルジャパン株式会社（現インテル株式会社）に入社、2005年、同社マーケティング本部長に就任、2007年、芝浦工業大学専門職大学院 技術経営/MOT卒業、2009年、同大学地域環境システム専攻博士課程修了、2011年、同社取締役副社長 兼 技術開発・製造技術本部長に就任、2016年、横河電機株式会社に入社、現在に至る。

講演内容のポイント

計測、制御、情報をコアとしてグローバルにソリューションを展開し、今年で創業103年を迎える横河電機。事業部ごとのマーケティングとは異なり、グループ全体における中長期視点のマーケティング・経営戦略を担う組織である「マーケティング本部」を設ける。同組織は、R&D、オープンイノベーション、M&A、特許・知的財産、市場調査、工業デザインなど、イノベーション創出に必要なアセットを全方位的に網羅しており、阿部氏がその統括を担う。今後の新たなターゲット領域として、バイオ、エネルギー、マテリアル分野に注力。横断的組織からの革新的価値づくりに挑む阿部氏を招き、同社のユニークな組織体制づくりやイノベーションを支える様々な戦略的取り組みについてお話をいただきます。

15:05-15:45 【新事業創出実践のための人材・組織戦略】

協賛講演

新事業創出を牽引できる人材、新事業が創出される組織文化～人材開発・組織開発からみた事業創出のポイント～

- 出現率が低い事業創出人材の発掘
- 事業アイディアを潰す文化、引き出す文化
- 研究開発者と市場をつなぐ「マーケットダイブ」



株式会社インヴィニオ 代表取締役 土井 哲 氏

プロフィール | 東京大学卒業後、東京銀行に入行。MITスローン経営大学院にてMSを取得。マッキンゼーを経て、ベンチャー企業の経営者を支援するコンサルティング会社を設立。97年にインヴィニオを立ち上げ、リーダー育成・組織文化変革を通じて組織能力を高めるパフォーマンスリベッパメント事業を展開。大企業の新規事業開発プロジェクトに関わる。

講演内容のポイント
機関投資家の資金が脱炭素社会の実現にむけて大きく流れを変える中、既存事業を変革する、事業ポートフォリオを変える、自社のもつ脱炭素化に資する技術を事業化する絶好のチャンスが訪れています。一方で、大企業に就職する人の大半は安定性を求めており、事業創出の機会を求めて入社する学生はほとんどいません。そのような集団の中で事業を立ち上げ成功させるには、資質ある人材の発掘と意図的な組織文化醸成が不可欠です。事業創造に向いている資質とは何か、どのような人材をどのように発掘できるか、事業創向の組織文化に変えることは可能か、20年近く新規事業開発の支援をしてきた経験から見えてきたKFSや事例を共有します。

15:45-16:00 Coffee Break

16:00-17:30 【新事業戦略と組織の未来】

特別パネルディスカッション

日本企業におけるイノベーションの“妙薬”はあるか？

インタラクティブなセッションを予定！
参加者からのご質問も絶賛受付中！



パネリスト Yamaha Motor Ventures & Laboratory Silicon Valley Inc. CEO and Managing Director

（ヤマハ発動機株式会社）西城 洋志 氏

プロフィール | 九州大学工学部卒業後、ヤマハ発動機株式会社に入社。約20年に渡り表面実装技術とロボット事業においてソフトウェア開発、ソリューション開発および新事業開発に従事。2014年5月よりYamaha Motor Corporation, USA のNew Venture Business Developmentの部長となり、その時期にシリコンバレーのエコシステムを活用した新事業開発の企画・戦略立案を行った。2015年7月にYamaha Motor Ventures & Laboratory Silicon Valley Inc.を設立し、ベンチャー企業への投資を含めた新事業開発活動を行っている。



パネリスト Honda R&D Innovations, Inc. CEO

（本田技術研究所）執行役員 杉本 直樹 氏

プロフィール | リクルートにて人事採用、営業担当などを経て、インターネットメディアの立ち上げに参画。1994年にUC Berkeley留学し、在学中に立ち上げたオンラインコミュニティを社内ベンチャー化。リクルート退職後は、シリコンバレーにてベンチャー投資コンサルタント等の後、2005年にホンダのCVCに参画。2011年にCVCをオープンイノベーションラボに改編し、コラボレーションを通じた新商品・新事業提案を推進。2017年、Honda R&D Innovations, Inc.を設立しCEO（兼 本田技術研究所 執行役員）に就任。シリコンバレー在住23年。東京大学工学部卒業。UC Berkeley MBA修了。



パネリスト 株式会社ジャパンディスプレイ 執行役員 CSO兼CMO 伊藤 嘉明 氏

プロフィール | 日本コカコーラ、デル、ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント（SPE）、ハイアール・グループなどのグローバル企業にて、経営陣としてブランド認知度の向上、業績回復、シェア拡大、売り上げ新記録樹立等、事業再生を手がける。2017年よりジャパンディスプレイに参画し、現在CSO兼CMOとして経営再建に携わる。



パネリスト VALUENEX株式会社 代表取締役CEO 中村 達生 氏

モレーター 一橋大学イノベーション研究センター 特任教授

法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授 米倉 誠一郎 氏

プロフィール | イノベーションを中心とした経営戦略と組織の史的研究が専門。「一橋ビジネスレビュー」編集委員長、およびアカデミーヒルズの日本元気塾塾長でもある。ハーバード大学歴史学博士号取得（Ph.D.）。2012年よりリテリア大学日本研究センター所長、顧問を兼任。著書は、「オープン・イノベーションのマネジメント」（有斐閣）、「創発的破壊 未来をつくるイノベーション」（ミシマ社）、「2枚目の名刺」（講談社+α新書）、「経営革命の構造」（岩波新書）の他、近著に「イノベーターたちの日本史：近代日本の創造的対応」（東洋経済新報社）がある。

撮影:御厨慎一郎

*プログラム内容や時間は急遽変更になる場合がございます。